

## 地元農畜産物を利用した新商品の製造と販売及びレストラン営業事業

上越市、妙高市の7JAが広域合併し、平成13年に発足。経営の複合化推進の一環として園芸振興に注力し、平成18年に野菜を主体とした農産物直売所「旬菜交流館あるん畑」を開設。農産物直売所の販売実績は県内JAでトップを誇る。

認定日：平成26年10月31日



### 【総合化事業の目標】

新たに整備する加工販売施設やレストランで、消費者ニーズを反映して地元農畜産物を活用した加工品やメニューを提供することにより組合員の所得向上を図る。

### 【総合化事業の具体的な内容】

加工販売施設を整備し、「米粉パン」、「菓子」、「惣菜・弁当」、「ジェラート」、「ジュース」及び「ハム・ソーセージ」を製造・販売するとともに、生産と消費を繋ぐ場として活用する。  
地産地消を推進するため、農協組合員による朝採り野菜を活用して、野菜本来の味を活かす郷土料理・家庭食を中心としたレストランメニューを提供する。

